

EtherScope® & CyberScope & AirCheck G3 v2.4 Release Notes

November 7, 2023

このリリースノートでは、このリリースに含まれる新機能と機能強化について簡易的に説明します。

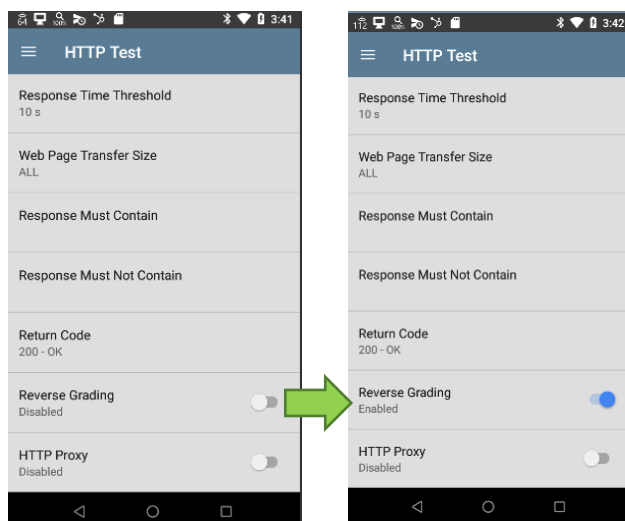
本リリースノート末尾のソフトウェア・アップグレードの説明を参照してください。

Version 2.4 新機能

注記がない限り、EtherScope、CyberScope、AirCheck G3に適用されます。

自動テストアプリでの反転評価

- テストの解釈がより直感的になりました。デフォルトでは、テストに成功した場合は「合格」(緑)、テストに失敗した場合は「不合格」(赤)となります。しかし、テストの失敗を「合格」(緑)、テストの合格を「不合格」(赤)と解釈するように切り替えるオプションが追加されました。反転評価が有効な場合、テストは失敗すれば成功、成功すれば失敗とみなされます。例えば、ゲストネットワークからゲートウェイに ping を試みるような場合、適切に設定されたネットワークはこれを許可しないはずなので、失敗したゲートウェイへの ping の試みは「Pass」と解釈される必要があります。

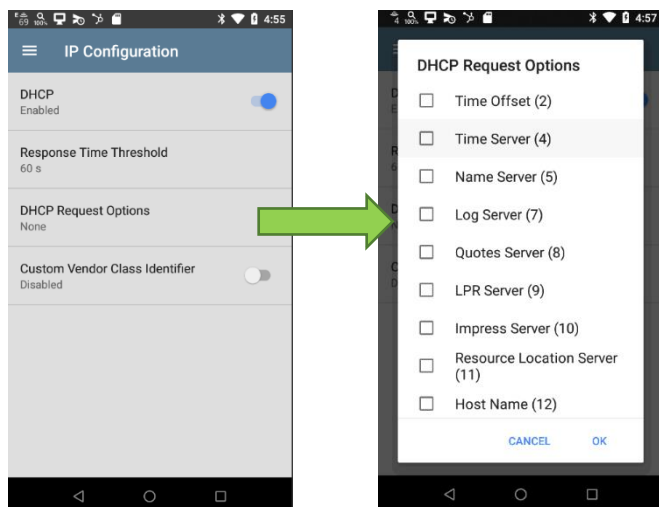


Wi-FiアプリでのPasspointビーコン解析

- Hotspot2.0としても知られるPasspointのアクセスポイントからのビーコンフレームについて、より詳細な解析が行われ、追加の属性が定量化されるようになりました。ビーコンフレームは、APとそれに接続されたデバイスのステータスに関する豊富な情報源です。このリリースにより、Passpoint情報がキャプチャされ、Wi-Fi アプリおよび Link-Live Wi-Fi 解析ファイル内ですぐに利用できるようになります。

自動テストアプリのDHCP 要求オプション

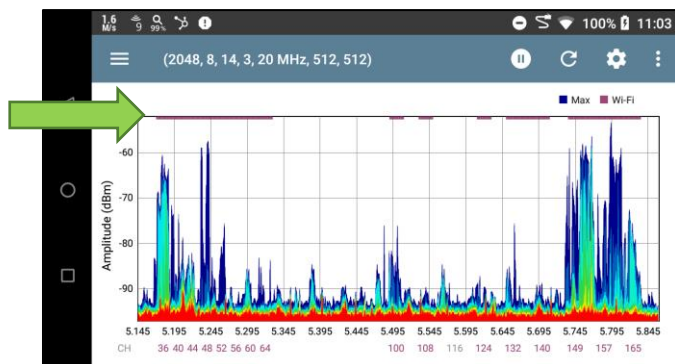
- DHCP 要求オプションを検証する機能が自動テストアプリで利用できるようになり、DHCPサーバー構成を検証するプロセスが迅速かつ簡単になりました。この新しい機能にアクセスするには、[IP設定]オプション内で[DHCP 要求オプション]をタップします。



- DHCP プロトコルは、IP アドレスの提供に加えて、デバイスの構成に非常に役立つ多くのオプションを設定できます。DHCP 要求オプションは、ネットワークアクセス展開の初期段階または新しいデバイスの追加時にネットワーククライアントを構成する効果的な方法です。

Spectrumアプリの改善

スペクトラムアナライザの使用で、802.11 以外の干渉源や非常に “ノイズの多い” RF環境により、有効な Wi-Fi 信号がわかりにくくなる可能性があります。したがって、このような場合の視認性を向上させるために、Spectrumアプリは、(単なるノイズではなく)正規の Wi-Fi トラフィックがある場所をハイライトするようになりました。Spectrumアプリのグラフでは、Wi-Fi APが送信している周波数が、わかりやすい赤いハッシュで画像の上部にハイライト表示されます。これにより、関連するWi-Fi周波数に焦点を合わせやすくなります。



バージョン2.4でのその他の変更点:

- **接続ログの自動プッシュ** – これまで、接続テストのログは手動で Link-Live にアップロードする必要がありました。今後は、すべてのテスト後に接続ログを Link-Live に自動的にプッシュするオプションが追加されました。これにより、ワークフロープロセスと自動化の取り組みが簡素化されます。
- **ディスカバリパーセンテージの改善** – 上部のステータスバーで進捗率が90%を超えた場合、より詳細なディスカバリのパーセンテージ表示が可能になりました。これは、ディスカバリの実行状況をより正確に報告することで、ユーザーエクスペリエンスの向上に役立ちます。
- **高温通知** – お客様の資産を保護するため、ユニット内部の温度が高すぎる場合に通知されるようになりました。また、ハードウェアの損傷を防ぐため、ユニットは自動的にシャットダウンします。
- **信号調整オフセット** – AirMapper または Wi-Fi アプリの使用中に使用される信号調整オフセットに関する情報が Link-Live にアップロードされるようになりました。
- **ローミングしきい値の拡大** – 自動テストアプリのローミングしきい値の上限が -40 dBm に引き上げられました。
- **AP名の解析** – このリリースでは、AristaおよびMojo Networksのビーコンフレームで送信されるAP名対応が追加されています。
- **IPv6 対応** – IPv6の使用に対応されました。(EtherScope,CyberScopeのみ)
- **追加言語対応** – ドイツ語と韓国語に対応しました。

Version 2.4へアップグレード

Link-Liveにご登録いただいている場合は、OTA(Over the Air)ファームウェア・アップデートに従うことを強くお勧めします：

1. 利用可能なソフトウェア・アップデートをいつでもチェックするには、ホーム画面からLink-Liveアプリを開きます。
2. Link-Liveアプリで、メニューアイコンをタッチするか、右にスワイプして左側のナビゲーションドロワーを開きます。



3. [ソフトウェア・アップデート]をタップします。ソフトウェア・アップデート画面が開き、利用可能なアップデートのバージョン番号が表示されます。
4. [ダウンロード+インストール]をタッチしてシステムをアップデートします。
5. 完了すると、ユニットが再起動します。